

普及現地情報

発信年月日：令和2年（2020年）3月9日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C19048
部門分類：130(工芸作物・特用作物)
発信者名：竹若、濱谷

これからの朝宮茶を考える研修会が開催される

2月25日、甲賀市信楽町の朝宮茶拠点施設において、当課からの働きかけにより信楽町茶業協会の主催で標記研修会が開催され、朝宮地域の茶業農家と関係機関21名が研修を受講しました。

最初に、県庁商工政策課から、県内でのSDGs取組事例、イノベーションハブの活動紹介の後、茶業協会で検討中の朝宮茶SDGs宣言（案）を検討しました。また、6次産業化中央プランナーの日小田知彦さんから、「日本茶の可能性と地域の取組」と題して講演いただきました。そして、国内外の茶流通状況や嗜好の変化などを踏まえて、小さな産地が今後も生き残っていくためには、茶の歴史、香りのいい高級茶産地を売り物にして、インバウンドでファンを増やしていく「朝宮ティーリズム」の仕組みを早急に立ち上げる必要があるとの提言をいただきました。

参加者からは、「朝宮茶のこれからのを考えるいい機会になった。」「小さな産地であるからこそ取り組めることもある。ぜひいろいろな団体が力を合わせて朝宮ティーリズムの実現をめざしたい。」などの意見や感想がありました。

当課は、同協会と連携して、今後も引き続き朝宮茶ブランドの確立を考える研究会を定期的開催していく予定です。



県内のSDGs取組事例について学ぶ



日小田プランナーの講演の様子